

南山城村 童仙房

ヒアリング対象：岡田泰子さん

2013年春に小さなイタリアンカフェを旦那様とオープン予定

都会で暮らした人たちが、田舎で暮らすことは、
田舎を活気づける大きな存在になるのでは。



デッケコルニル加奈子さん

左京区在住
どろんこ 主催



○移住のきっかけ？

主人の実家が近く、子育てをするのに良い環境だと思いました。その他、外に向かって発信しようとする意識が見えたのがポイントです。

○移住して良かったことは？

地域・近隣の方たちと親しく、助け合って生活できること…。

例えば、わたしの自動車免許が無かった頃、主人が仕事の時に息子が発熱した際、大家さんや、近所の方をお願いして病院に連れて行ってもらうことがあります。皆さん心よく引き受けてくれ、大変助かります。わたしたちも何かお役に立てることがあれば、心よく引き受けます。また、子どもが少ないので、とても大切に、温かく見守ってくださいます。人との出会いはご縁ですし、運でもありますが、わたしたちはラッキーだったなと思います。その他は、日々、四季折々の自然を楽しめるところ、新鮮なお野菜がお安く手にはいる、またはご近所から頂けるところです。

個人的には、村に来てあまり内と外の区別が無くなりました。都市部に住んでいた頃は、外に出るとき、どこか緊張というか気を張っていましたが、村ではスイッチを切り替えずに自然体で外出しています。皆さん知らない者同士でも会えば挨拶するので、気持ちが警戒しないのかもしれませんが。このような生活ができるのは、本郷地区だけのことでなく童仙房もそうだと思います。

○童仙房の魅力は？

童仙房は役所の方から聞いて知りました。長閑な雰囲気や四季折々の景色はとても魅力的です。旧野殿童仙房小学校の倉庫を改築された Arabon というお店には、南山城村在住の作家さんの作品や、オーナーがセレクトした素敵なものがあり、そこにはいろんな情報や人が集まってきます。オーナーさんを始め、クリエイティブな素敵な人たちが集まっているというのも魅力だと思います。

○不便なところは？

もちろん買い物は街より不便ですし、車は必須です。噂好きな人もいるし、噂は尾ひれが付き一気に広まります。でもそれは一部ですし、皆話し半分です。鈍感力が大事になってきます。あとは冬が寒いところと、電波がないところです。